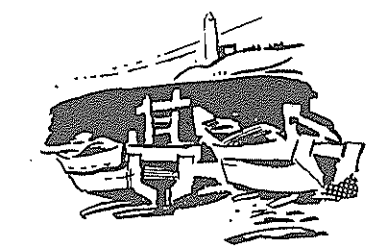


# 部落解放への道

## 部落についての俗説



「部落の人たちは、昔、人のいやがる仕事（特に牛馬の殺やその処理など）をしていた人びとの子孫ではないか……」という考え



今から二千年くらい昔に、日本列島へ、中国から稲を作ることが伝えられるまでは、すべての人びとは原始的な集団社会をつくって生活（というより生きていた）といった方が適当かもしれない。生きていた時代は、みんなが協力して食物をもとめ、ようやく生命を支えていました。男たちは集団で獣を狩り、これを殺して肉を食糧にし、皮をはいで身にまとうて生きている。この時代には、すべての人々は平等で他人を支配したり搾取したりすることはありませんでした。稲作が伝えられてから人びとは一定の土地に定住するようになり、食糧にも余裕ができるようになり、すべての人びとが働かなくてもよい状態となりました。

### 大人に訴える

幡多郎 中学生

「未解放部落」とあなたは言う。あの人は部落の人とあなたは言う。僕たち子供にとってこんないやな言葉はありません。この一語一つでいくつもの生命がうしなわれるのです。同じ人間同志でありながら人間が人間を人間と思わず、ゲジゲジやミミズのような虫けら同様に思い差別して……部落民を苦しめ……悲しめ死にまで追いやるこのことは、大人はこのことは平気でつか

い 一人一人の世からおい出して自分は堂々と生きている。こんなこんな事、平気でおこなわれている大人の世界。僕は大人になりたくない。このまま子供でいたい。しかし僕は成長して大人にならなければならない。大人になろうとしている大人の大人達よ、この僕のふあん子どもたち皆んなの不安をふきけして立派な社会人として生きていける社会をつくって

「牛馬を殺してその肉を食う」とは、けがれたこと」とした考え方について「仏教が盛んになるにつれ殺生をきらい風が強くなったため」と説明する人もいますが、これだけでは不十分です。むしろ牛馬は農耕や運搬のための生産原動力であり、しかもその当時牛馬の数は少なかつたので、これを殺すことを禁止するため仏教の殺生戒を政治的に利用したと解釈するのがより妥当かとも思われます。例えば、聖武天皇の天平十三年の詔に「牛馬は人にかわって働き、人を養うものである。だから牛馬を殺してはいけない、聞くところによると諸國の百姓の中には、いくらとめてもいうことを聞かず、殺すものがある。それでは、もしそのようなことをすれば、牛、馬、あるいは子牛であろうと百たたきにしたうえさらに重い罪につける」とあります。このような詔は桓武天皇の頃にも、その他の天皇のときにもほぼ同じような禁止の詔が出されていることから明らかです。狩人（猟師）が鹿や猪などの獣を殺して生活することは禁止されたことはないし、中世以降、貴族や武士たちが鷹狩りをしたり巻

狩りすることなどは奨励されても禁止されたことはありませんでした。天皇自らも「御園園め」などという時々肉食していたことなどからみても、獣を殺したり肉を食べたりすることなどは決していやしい事とは考えられていなかったのです。また獣の皮をなめしたり、加工したりする仕事は、大切な仕事でした。特に戦国時代

には、皮は馬具や武器の材料として優遇されていたことあります。のち、徳川時代に入り、幕府が身分制度を確立して行く施策なかで、百二十余年の長い年月をかけて、士・農・工・商の四民の下へ賤民を法的な制度としてつくりあげて行きましたが、この時に賤人身分の人たちを、身分と住居と職業とで固定して行く方策をとり

ください。そのために、部落差別をやめて人間が人間を

人間が人間を人間として大事にされる世の中に一日も一日も早くしてください。

すなわち、差別される身分の人たちを政治的につくりあげ、その人たちの仕事を賤しい仕事として差別するようにしむけたのです。

# あなた……

## 何歳です



▽はい、八十歳になりました。

▽はい、七十歳になりました。

▽こんにちは、ボク、生まれたばかりの0歳児です。

▽ボク、まだ歳がないの。だってボク、まだお母さんのお腹の中にいるんだもん。

該当の方は、一度、市民課給付係におたずねください。くわしく説明いたします。

▽それではあなたは、南園市老人年金がもらえます。南園市老人年金は、八十歳以上の方に毎年三万円が支給されます。

▽あなたは、老人の医療費が無料になる対象者です。七十歳以上の方で所得などが大変多い人以外はすべての医療費が無料になります。

▽おめでと。あなたは、誕生日の月までの十三カ月間、医療費が無料になります。では元気に育ってくださいね。

▽元氣そうだね。キミには、お母さんに母子手帳をお渡しするとき、キミやお母さんが元氣かどうかを診察していただく無料の医療券を渡しているよ。それでは元氣でね、バイバイ！